

# マウロ・カルボナーネ教授講演会

日時： 2019年5月24日（金）16:30～

場所： 末川記念会館第三会議室

講演タイトル：「**「超え出るための限定  
―― 変様によって己を基礎づける  
＜原スクリーン＞という主題」**

講師：マウロ・カルボナーネ(Mauro Carbone)氏  
(フランス・ジャン・ムーラン・リヨン第3大学教授、  
**2019年度立教大学招聘研究員)**

マウロ・カルボナーネ氏：1956年、マントヴァ（イタリア）生まれ。

ジャン・ムーラン・リヨン第3大学哲学科教授。専門は現象学、現代美学。

主な著書に『イメージの肉—映画と絵画のあいだのメルロ＝ポンティ』

(西村和泉訳 水声社) など多数。

立命館大学「間文化現象学研究センター」では、メルロ＝ポンティ哲学と美学・映像学について、多数の著書を刊行し、現象学と芸術について透徹した思考を展開していることで著名なマウロ・カルボナーネ先生をお招きして、上記のような講演会を開催します。  
どうぞご参加ください。

講演言語 **フランス語** / 原稿あり・翻訳配布

聴講無料 / 事前連絡不要 / **参加自由**

主催：立命館大学間文化現象学研究センター  
立命館大学人文科学研究所 重点研究プログラム  
「暴力からの人間存在の回復」（代表：加國尚志）

お問合せ：立命館大学人文科学研究所

075-465-8225 / jinbun@st.ritsume.ac.jp

